

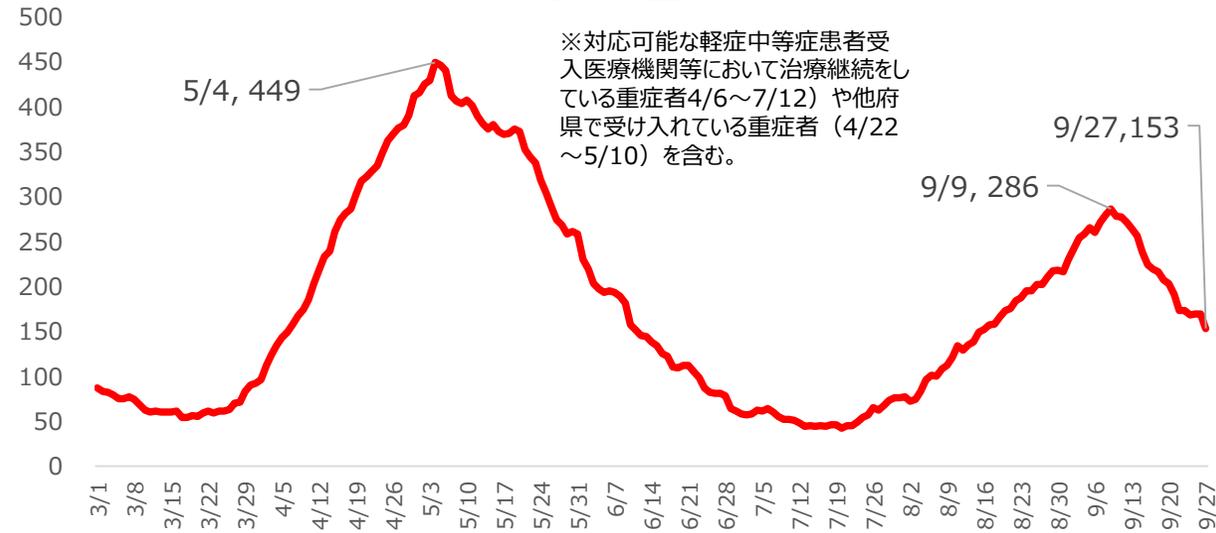
- | | | |
|---|-----------------------|--------|
| 1 | 入院・療養状況 | P2～7 |
| 2 | 第四波と第五波の比較 | P8～9 |
| 3 | 入院者数の推移 | P10～15 |
| 4 | 重症・死亡例のまとめ | P16～26 |
| | 【参考】病床確保計画・宿泊療養施設確保計画 | P27～28 |

1 入院・療養状況

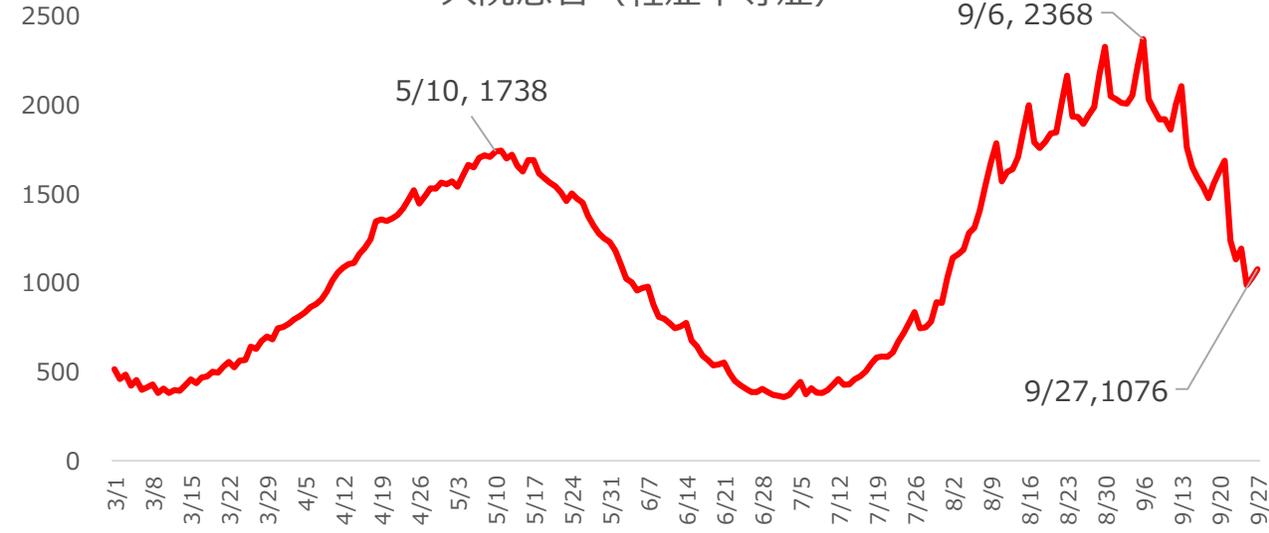
入院・療養者数 (9月27日時点)

入院患者 (重症)

※対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者(4/6~7/12)や他府県で受け入れている重症者(4/22~5/10)を含む。



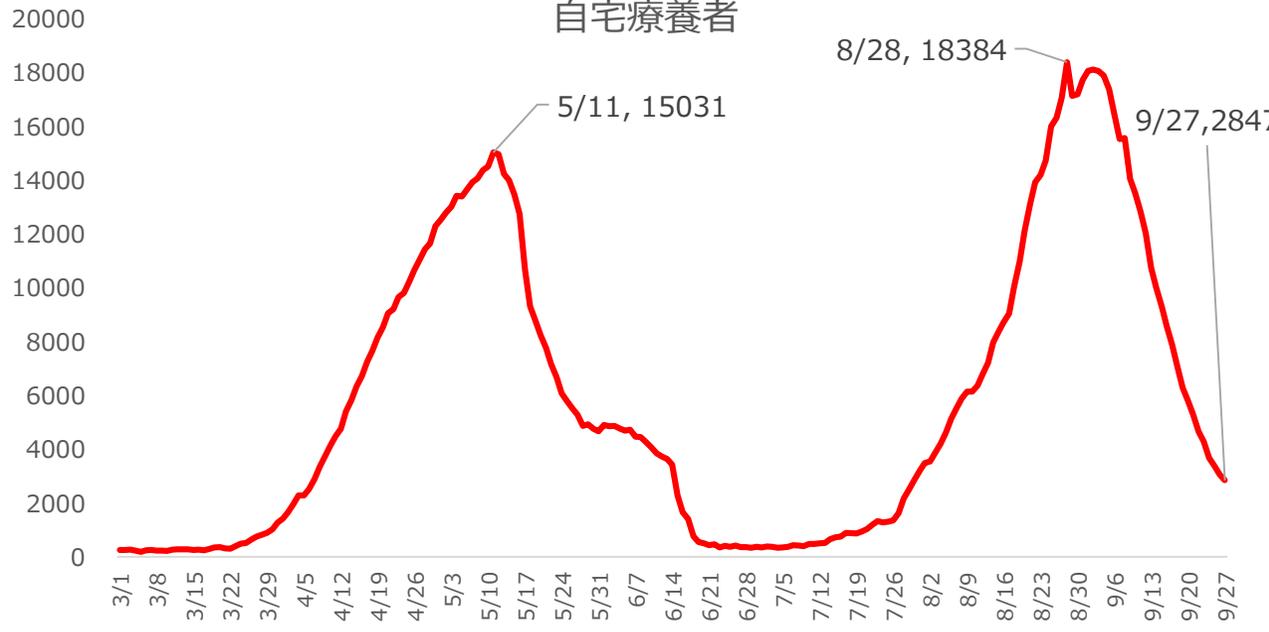
入院患者 (軽症中等症)



宿泊療養者数



自宅療養者



入院・療養状況(9月27日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	150床	1,100床	800室
	フェーズ2	230床	1,700床	1,600室
	フェーズ3	320床	2,000床	2,400室
	フェーズ4 (非常事態)	420床	2,350床	4,000室
	フェーズ5 (※災害級非常事態)	580床 (※)	2,500床 (※)	6,000室
	フェーズ6	—	—	8,400室
確保数等		確保数605床	確保数2,798床	8,408室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 2,847人)		153人	1,076人	895人
使用率		25.3% (入院者数153/確保数等605) 大阪モデルに基づく使用率は、47.8% (入院者数153/確保病床数320)	38.5% (1,076/2,798)	10.6% (895/8,408)
運用率		34.9% (入院者数153/運用数439)	38.5% (1,076/2,798)	10.6% (895/8,408)

緊急事態措置解除に伴い、以下のとおり、病床等のフェーズ移行(10月1日から)を医療機関等に通知する。

重症病床 : フェーズ4 ⇒ フェーズ3

軽症中等症病床 : フェーズ5 ⇒ フェーズ3

宿泊施設 : フェーズ6 ⇒ フェーズ4

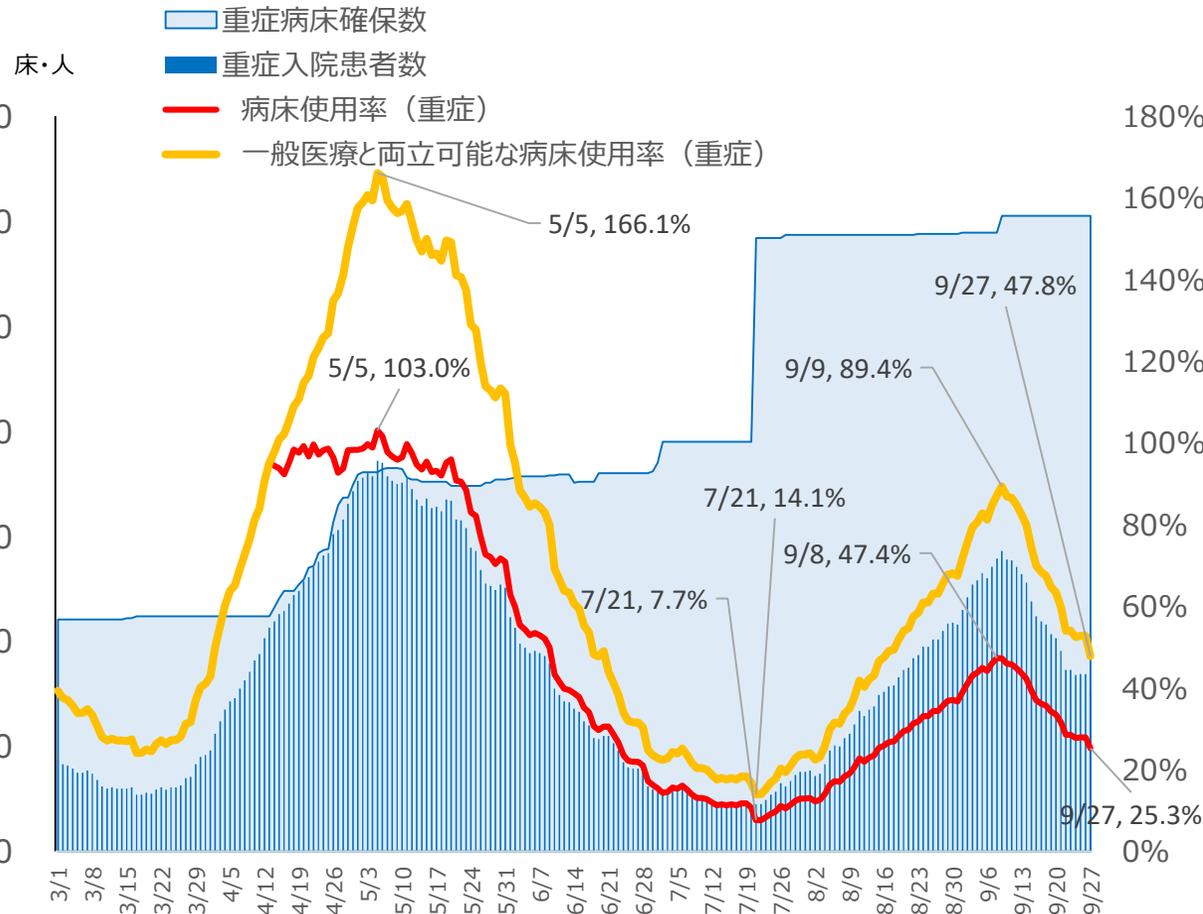
※運用病床数が病床確保計画の確保病床数を上回った場合、確保病床数を運用病床数と読み替える。

第四波・第五波新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

- ◆ 第四波では、一般医療と両立可能な病床使用率は最大166.1%と一般医療をかなり制限する事態となったが、第五波は、相当ひっ迫したものの、最大で89.4%であった。
- ◆ 災害級非常事態に備えた病床確保をすすめた結果、災害級非常事態に備えた確保病床使用率は最大で47.4%。
- ◆ 現時点で一般医療と両立可能な病床使用率は45%を超え、第五波当初の15%弱と比べ、依然、高い状況。

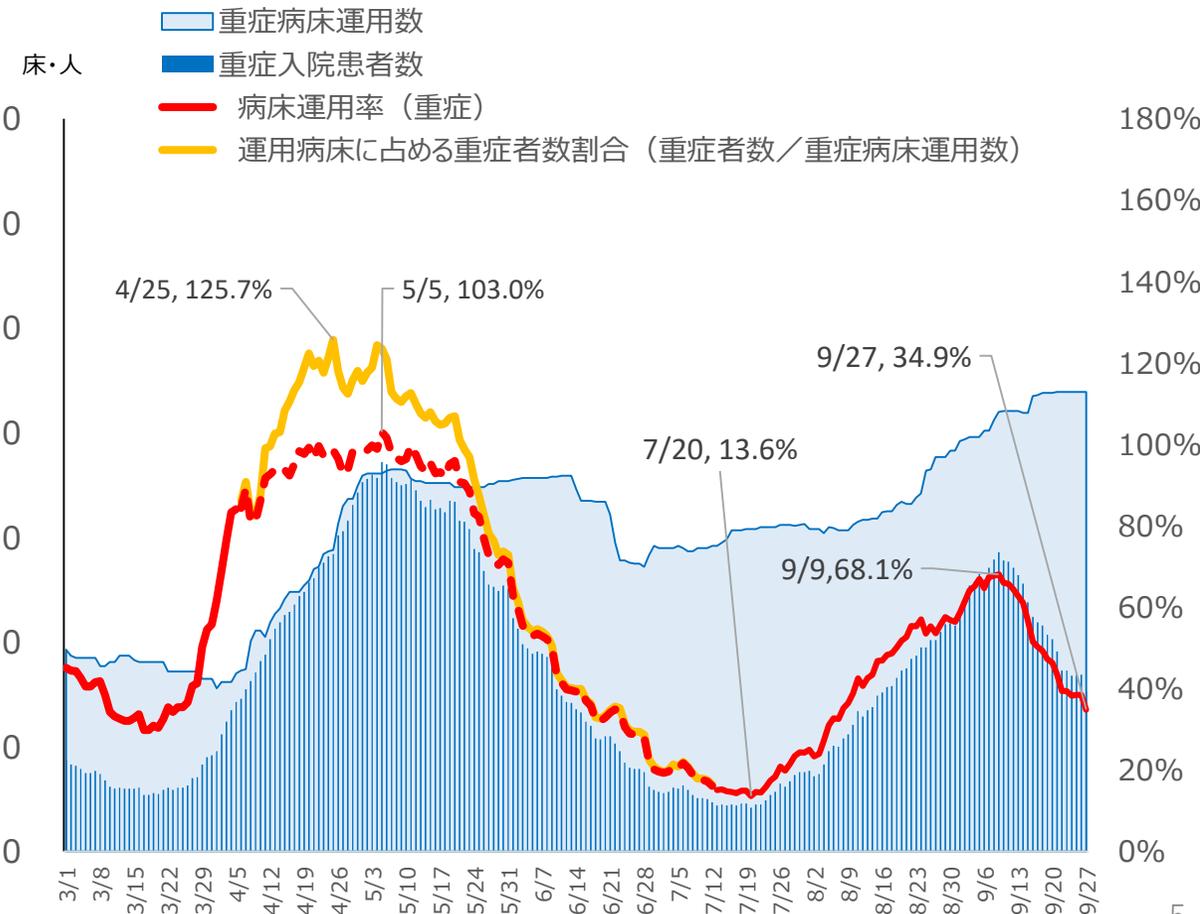
● 確保病床と使用率

重症病床（確保数・使用率）・重症入院患者数



● 運用病床と運用率

重症病床（運用数・運用率）・重症入院患者数

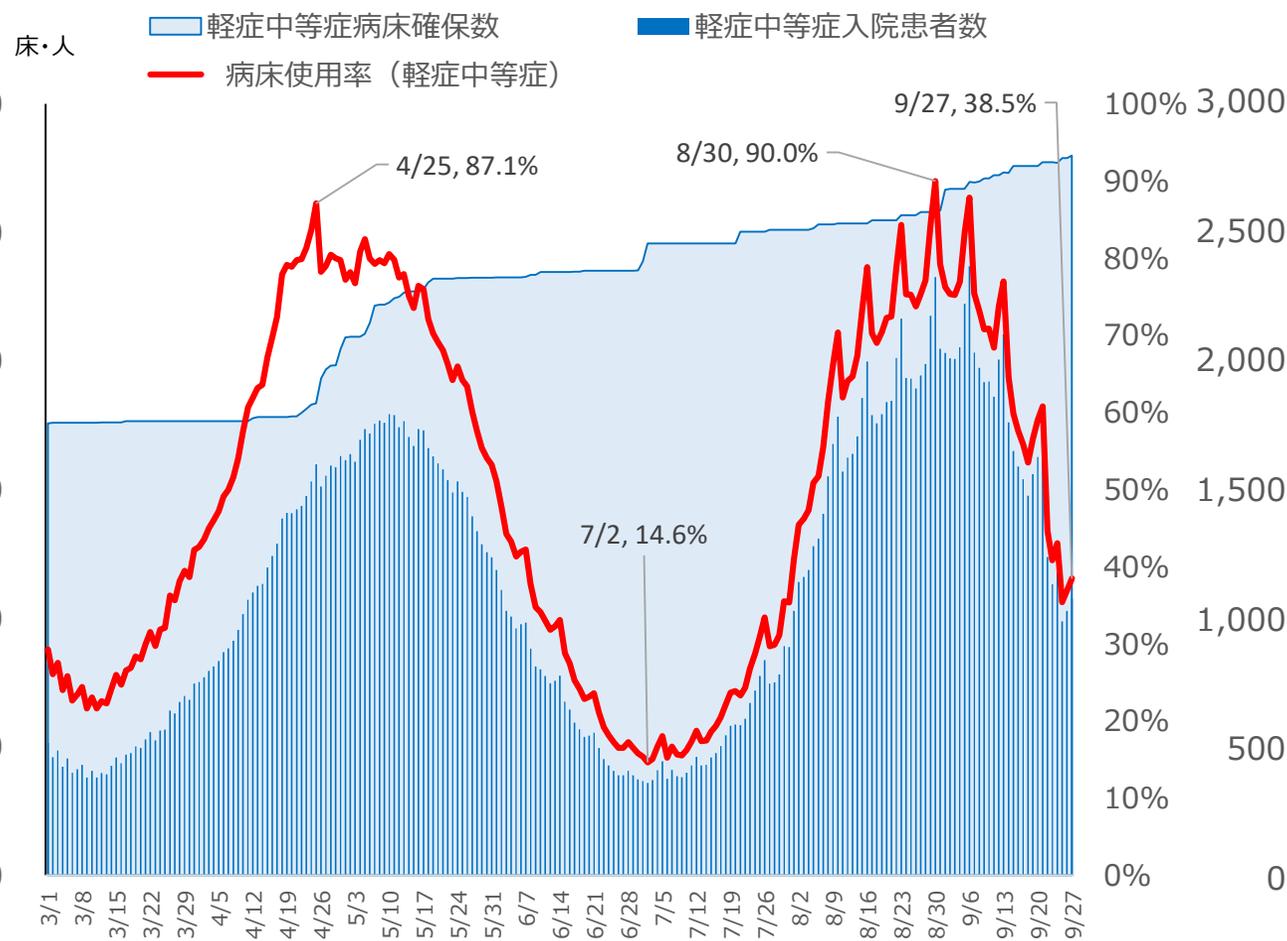


第四波・第五波新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

- ◆ 軽症中等症病床は、第四波と比べ、病床確保をすすめたが、使用率が9割と極めてひっ迫。
- ◆ 現時点で病床使用率は35%を超え、第五波当初の15%弱と比べ、依然、高い状況。

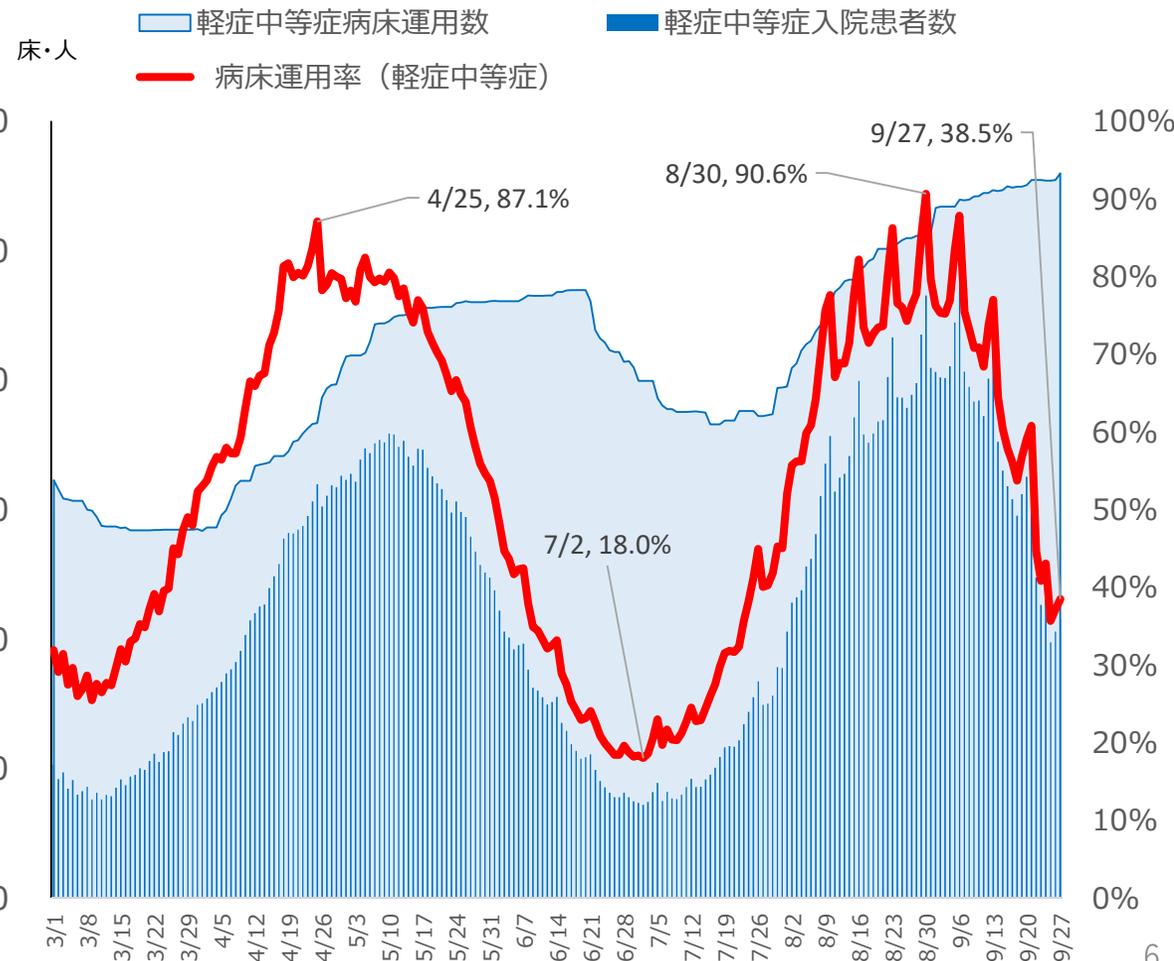
● 確保病床と使用率

軽症中等症病床（確保数・使用率）・軽症中等症入院患者数



● 運用病床と運用率

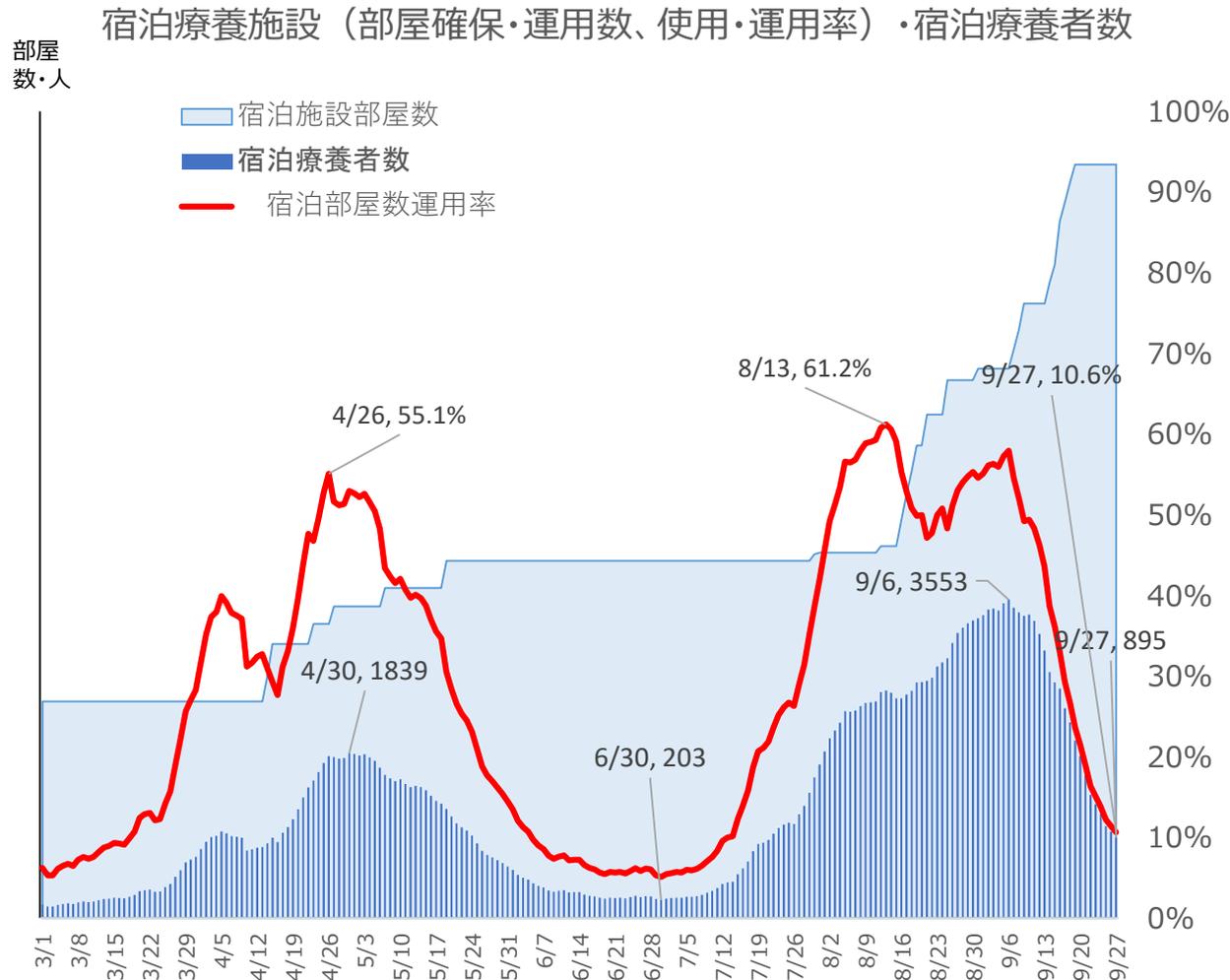
軽症中等症病床（運用数・運用率）・軽症中等症入院患者数



第四波・第五波新型コロナウイルス感染症療養宿泊施設の確保・運用状況

- ◆ 第四波と比べ、宿泊療養者数は2倍近くに増加したが、宿泊施設数の確保をすすめた結果、使用率は第四波と同程度にとどまった。
- ◆ 現時点で療養者は895人であり、第五波当初の200人程度と比べ、依然、多い状況。

● 確保部屋数と使用率(運用部屋数、運用率は同じ)



2 第四波と第五波の比較

第四波・第五波 医療提供体制等の状況について

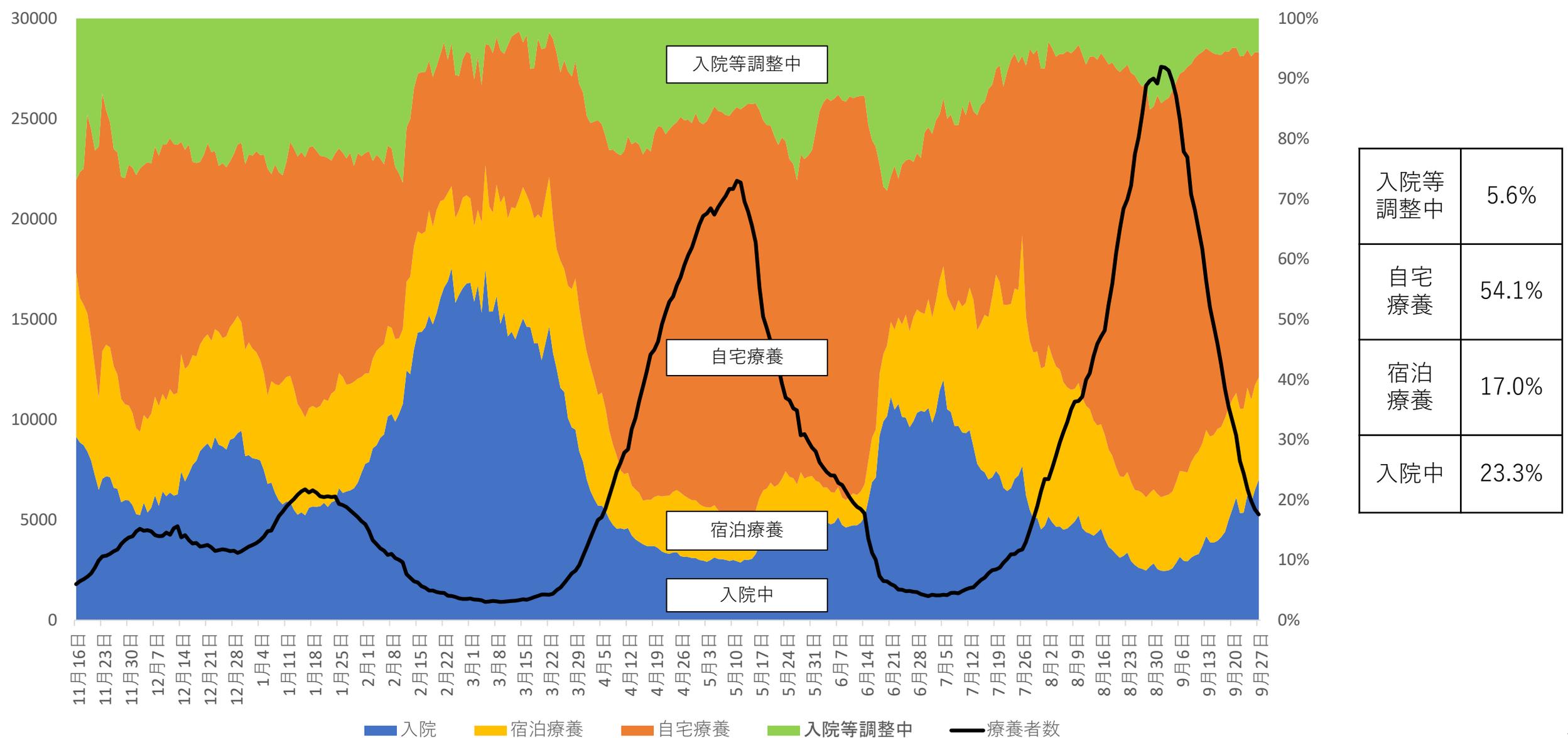
	第四波 (R3.3.1~6.20)	第五波 (R3.6.21~)
コロナ患者受入機関数	175機関(6/18~)	188機関 (9/24~)
確保病床数 (重症)	365床 (5/7~9)	605床 (9/9~)
重症入院者数 (最大)	449人 (5/4)	286人 (9/9)
確保病床数 (軽症中等症)	2,350床 (6/18~)	2,798床 (9/27~)
軽症中等症入院者数 (最大)	1,743人 (5/11)	2,368人 (9/6)
宿泊施設数 / 部屋数	15施設 3,986室 (5/19~)	31施設 8,408室 (9/19~)
宿泊療養者数 (最大)	1,839人 (4/30)	3,553人 (9/6)
重症化率	3.2%	1.0% ※
死亡率	2.8% ※	0.2% ※
最大療養者数	21,900人 (5/11)	27,587人 (9/1)
入院調整件数 (平均/最大) 9/21時点	70件/159件(4/26)	115件/245件 (9/2)
1人あたりの平均入院期間 (重症/軽症中等症 9/15時点) ※重症：重症病床におけるICU入室期間	重症 約12日 軽症中等症 12.9日	重症 約9日 軽症中等症 9.5日
長期入院 (15日以上) 患者の割合 (軽症中等症) 9/16時点	22.5%	8.8%
入院患者待機ステーション 入所者数 9/21時点	86名(第一 4/26~5/31、第二 4/30~5/12)	80名(第一 8/13~9/21 大阪市域外は運用中)
滞在時間 (平均/最長) 9/21時点	10時間 1分/51時間11分	1時間59分/ 6時間55分

※重症化率 (第五波)、死亡率 (第四波・第五波) は9/24時点。今後、重症者数、死亡者数、新規陽性者数の推移により変動。

3 入院者数の推移

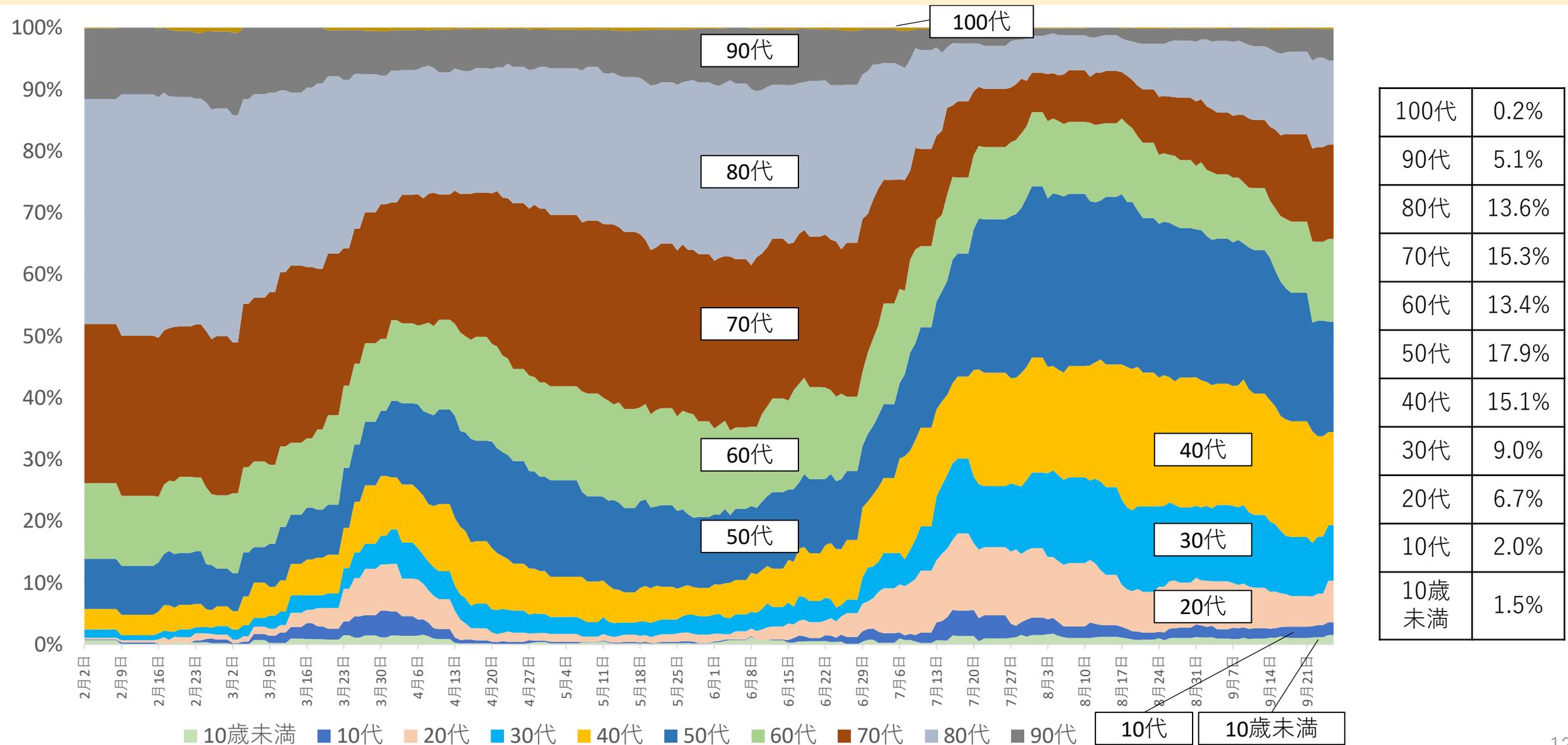
入院・療養状況(9月27日時点)

◆ 入院率は、9月3日以降改善し始め、27日時点で23.3%となっているが、依然、分科会指標ステージⅣの基準(25%)を下回っている。

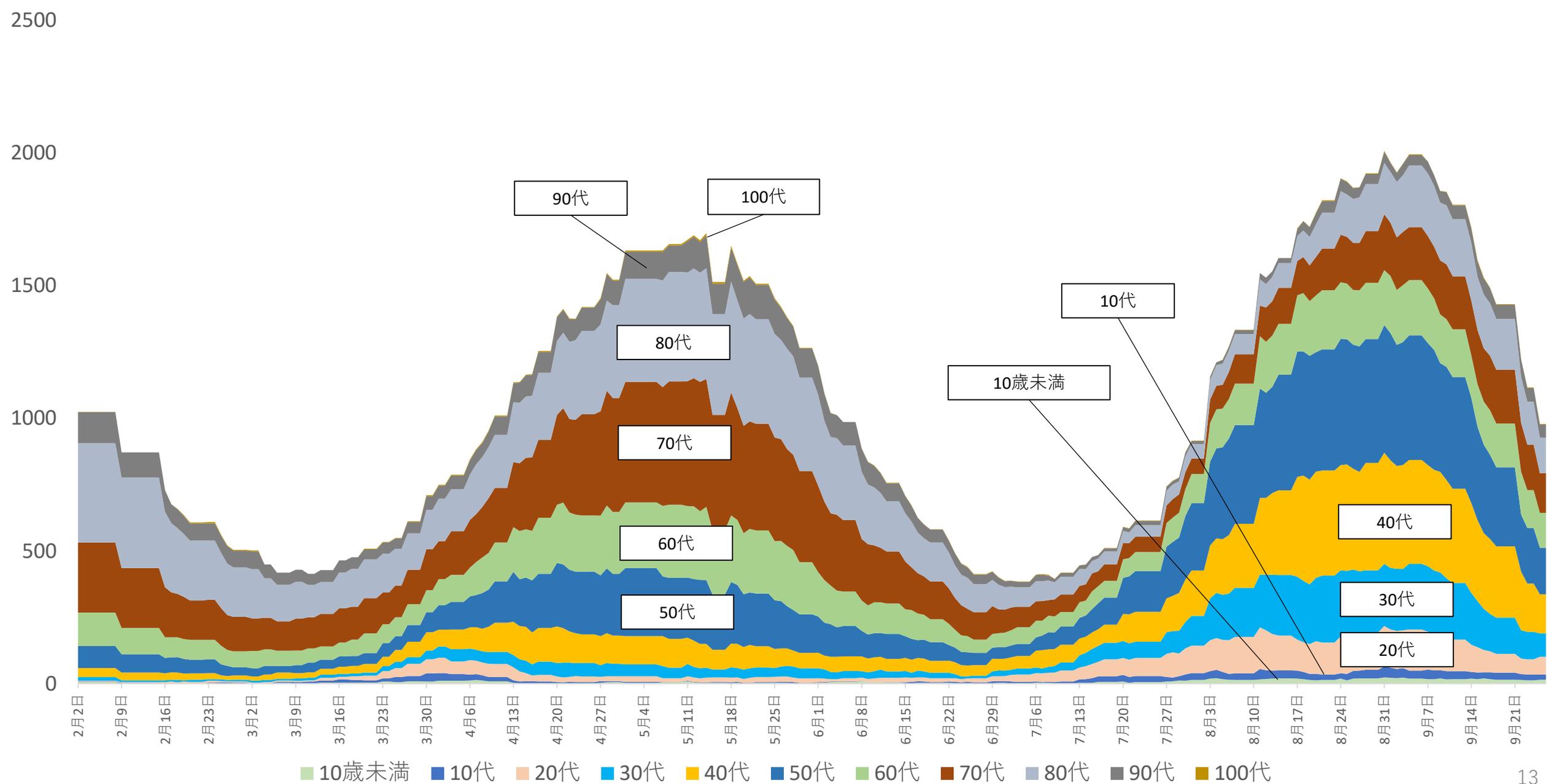


軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（9月26日時点）

◆ 第三波、第四波と比べ、第五波は60代以上の入院患者数の割合が減少し、50代以下の入院患者数の割合が増加。

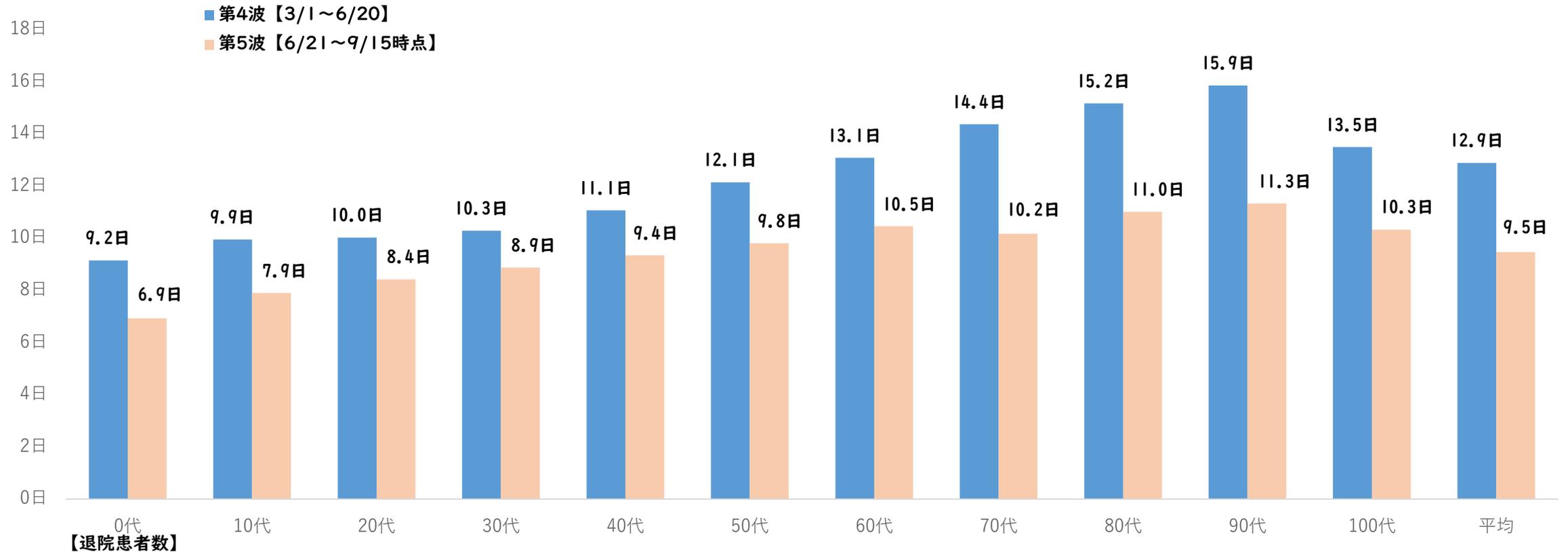


軽症中等症受入医療機関における年代別の入院患者数（9月26日時点）



第四波・第五波 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数（9月15日時点）

◆ 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数は、第四波では平均12.9日だったが、第五波では平均9.5日と3.4日程度短くなっている。



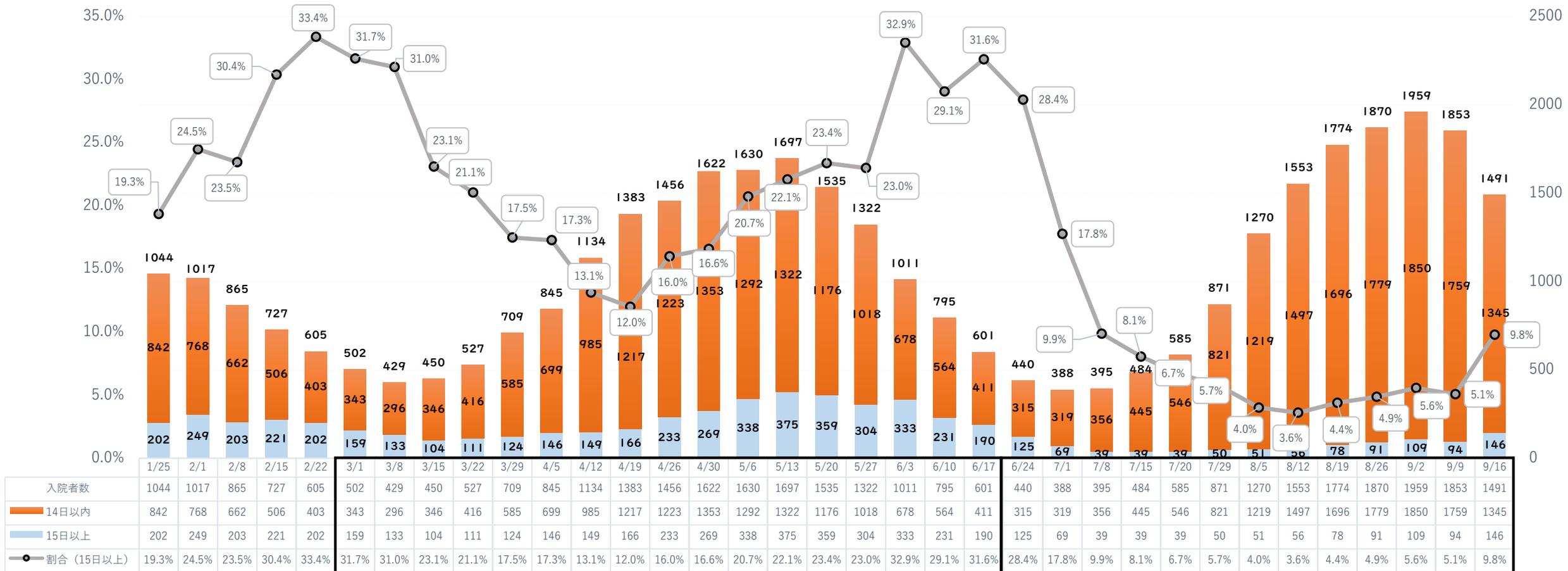
	0代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	合計
【退院患者数】												
第四波	52人	77人	250人	342人	707人	1,090人	982人	1,137人	743人	180人	12人	5,572人
第五波	138人	242人	961人	1,315人	1,865人	2,176人	895人	579人	391人	69人	3人	8,634人

※第四波は、R3.3.1～3.6.20の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※第五波は、R3.6.21～3.9.15の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※陽性判明日が不明の患者は除く

出展：入院フォローアップセンターのヒアリング結果から

第四波・第五波 軽症中等症病床における長期入院者（15日以上の患者）の状況（9月16日時点）

- ◆ 総入院患者に占める長期入院患者（15日以上）の割合は、第四波の4月から5月にかけて増加し、最大約33%に達した。
- ◆ 第五波の6月中旬から9月にかけて総入院患者数は増加したものの長期入院患者（15日以上）の割合は低い水準にとどまった。その主な要因については、入院が長期化する傾向にある60歳以上の入院患者の割合が第四波と比して著しく減少したことが考えられ、長期入院者の割合は、第四波で平均22.5%、第五波で平均8.8%と大幅に減少。



長期入院患者の平均割合：22.5%
※第四波期間中（3/1～6/20）

長期入院患者の平均割合：8.8%
※第五波期間中（6/21～9/16時点）

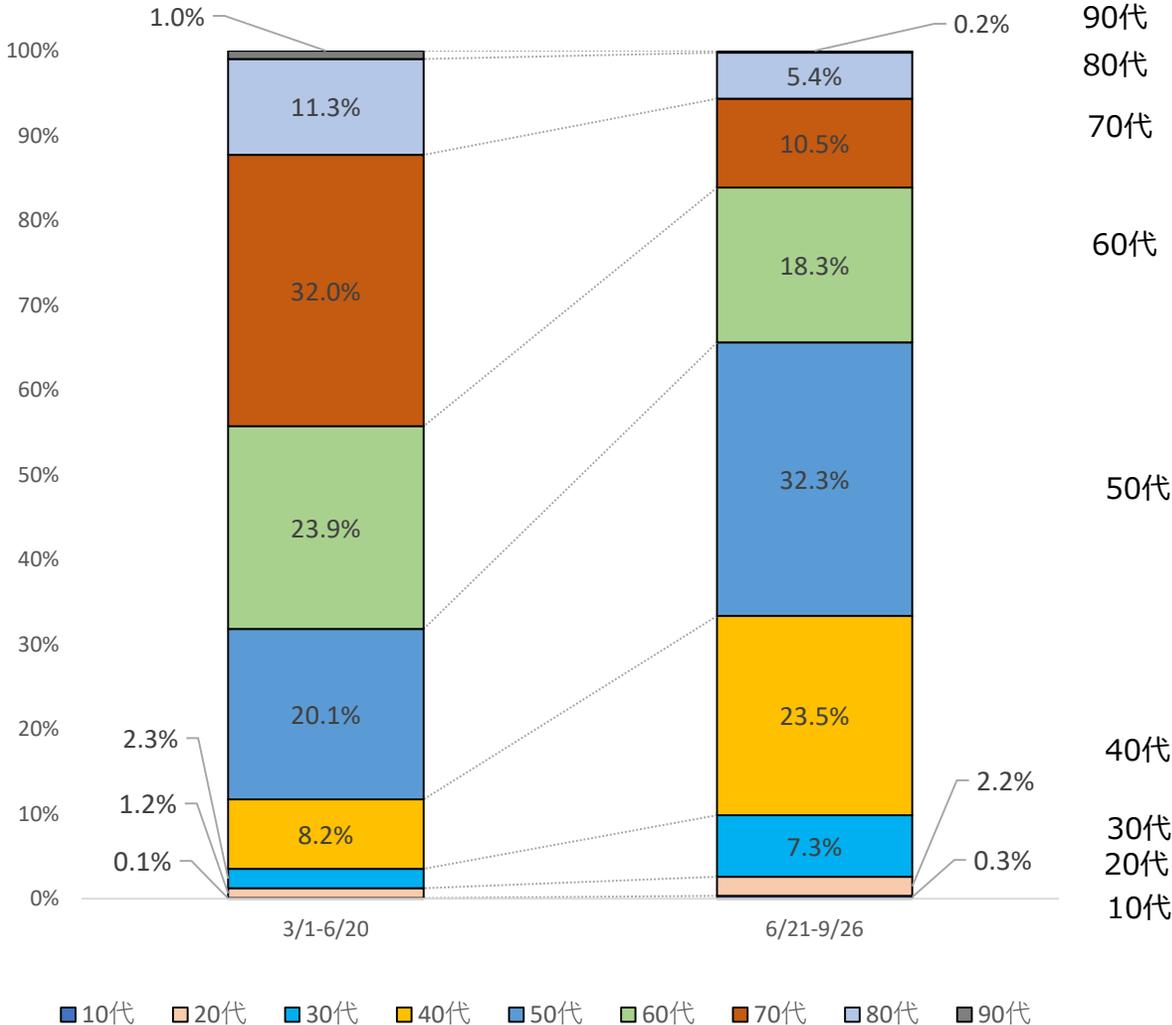
4 重症・死亡例のまとめ

年代別新規重症者の内訳（公表日別）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

◆ 第五波では、60代以上の新規陽性者数がワクチン接種の効果により抑えられたことから、60代以上の重症者数は第四波と比べ少ないが、30代以下や40・50代の新規重症者数は第四波の数を超過。

※100代の新規重症者は0名



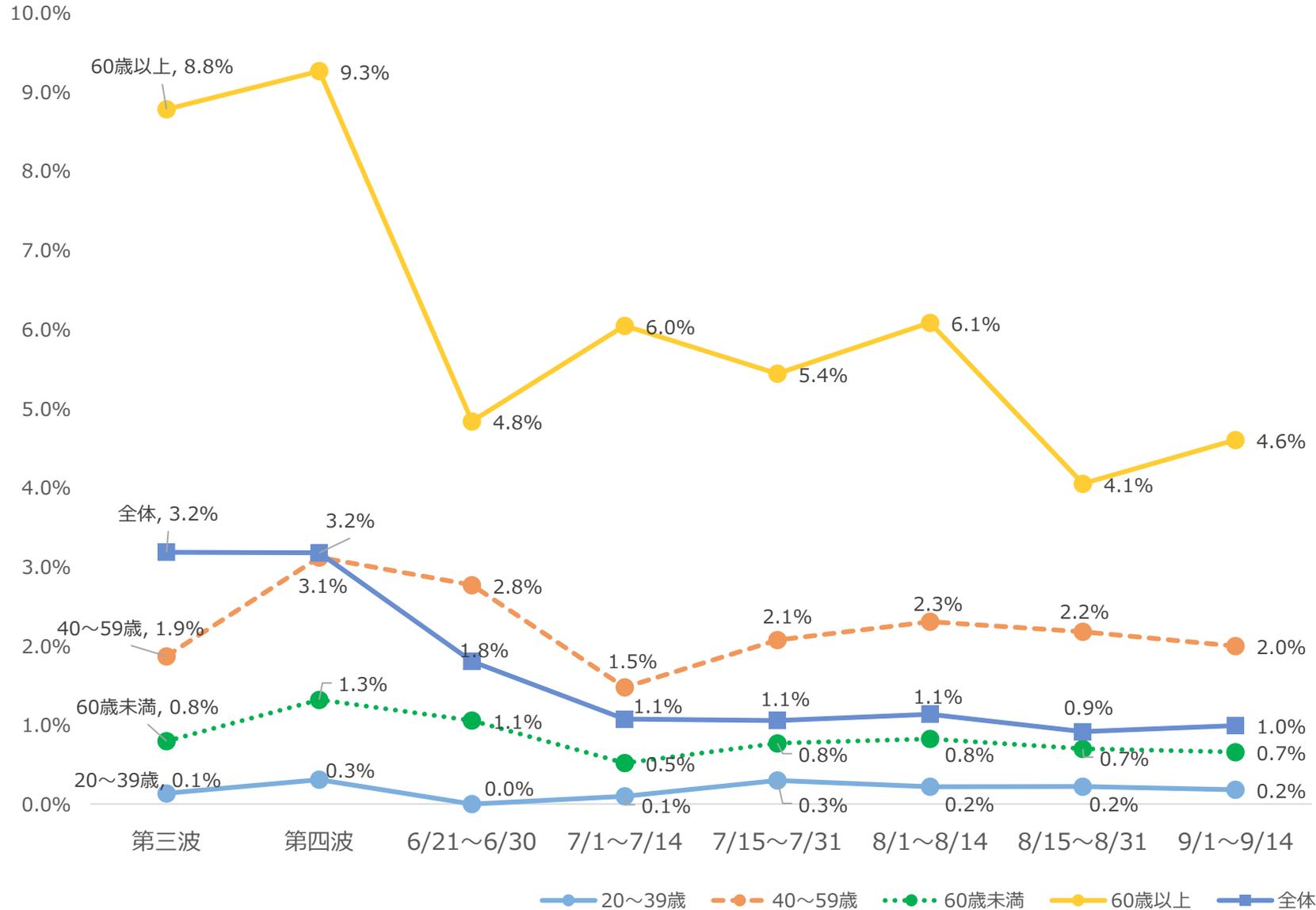
	第四波 (3/1～6/20)	第五波 (6/21～9/26)
新規陽性者数累計	55,318人	96,029人
新規重症者数	1,735人	950人
30代以下	61人 (3.5%)	92人 (9.7%)
40・50代の割合	491人 (28.3%)	528人 (55.6%)
60代以上の割合	1,183人 (68.2%)	330人 (34.7%)

※第五波の各年代の割合は、9月26日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

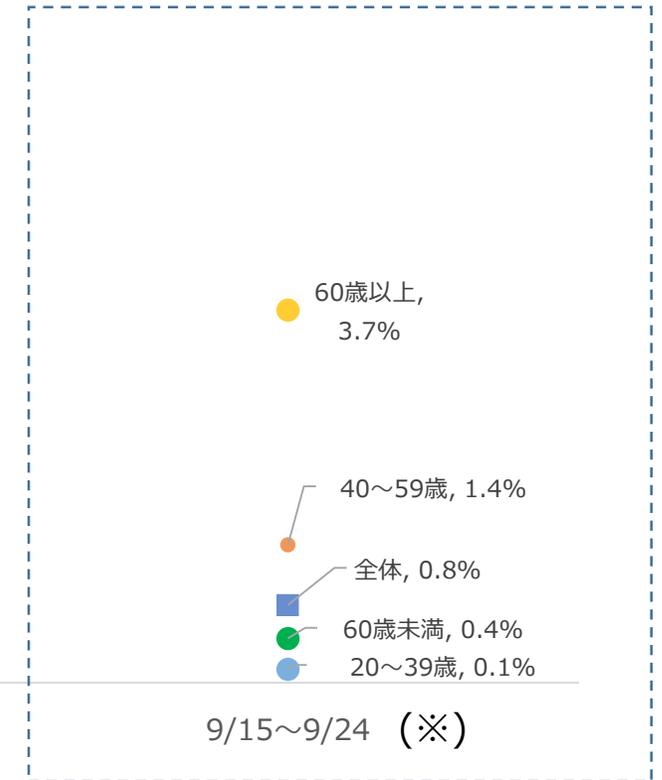
年代別重症率の推移（令和3年9月24日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

年代別重症率の推移



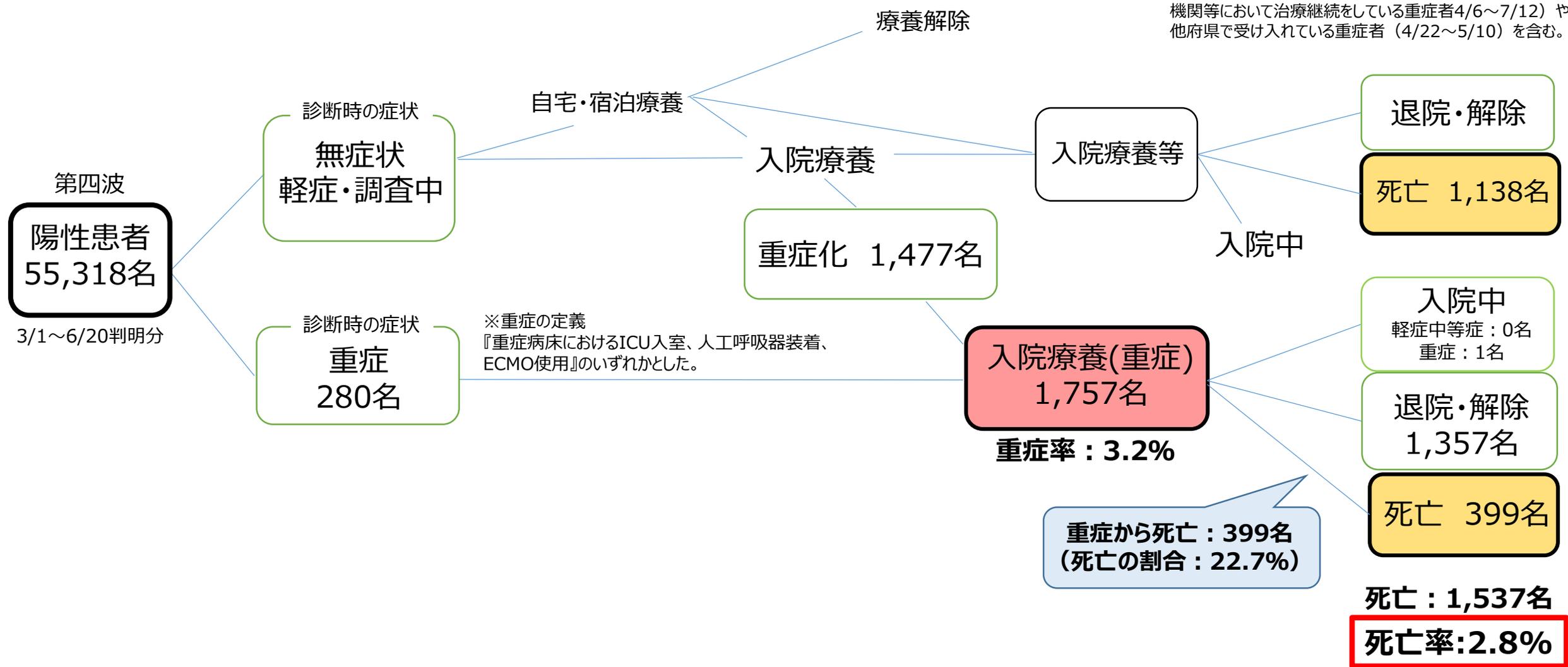
※陽性判明から重症化まで約1週間程度要することから、今後、重症者数が増加する期間



【第四波】重症及び死亡例のまとめ（令和3年9月24日時点）

重症及び死亡例の経過

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合
 ※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者(4/6～7/12)や他府県で受け入れている重症者(4/22～5/10)を含む。

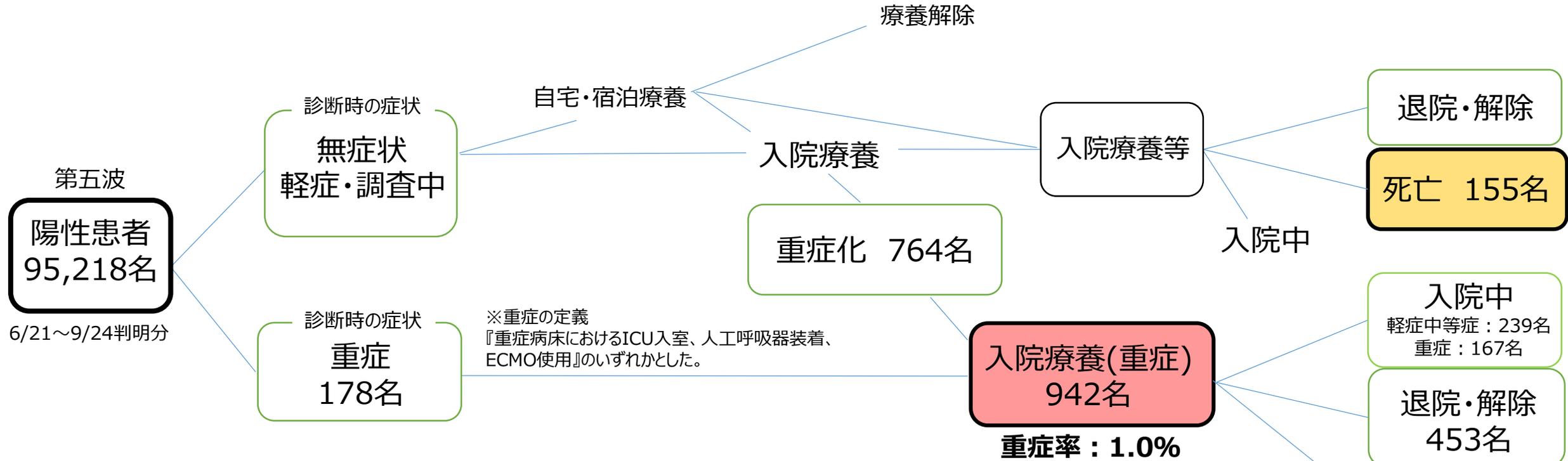


※死亡率は9月24日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数の推移により変動

【第五波】重症及び死亡例のまとめ（令和3年9月24日時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



※重症の定義
『重症病床におけるICU入室、人工呼吸器装着、ECMO使用』のいずれかとした。

全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/9/24判明時点

	累計陽性者数	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	死亡者数 (死亡率)	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波
		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 9/24		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 9/24
大阪府	197,658	1,786	9,271	36,065	55,318	95,218	2,942 (1.5%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	938 (2.6%)	1,537 (2.8%)	238 (0.2%)
全国	1,683,269	17,179	70,012	343,342	350,398	902,338	17,368 (1.0%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	6,510 (1.9%)	2,973 (0.3%)

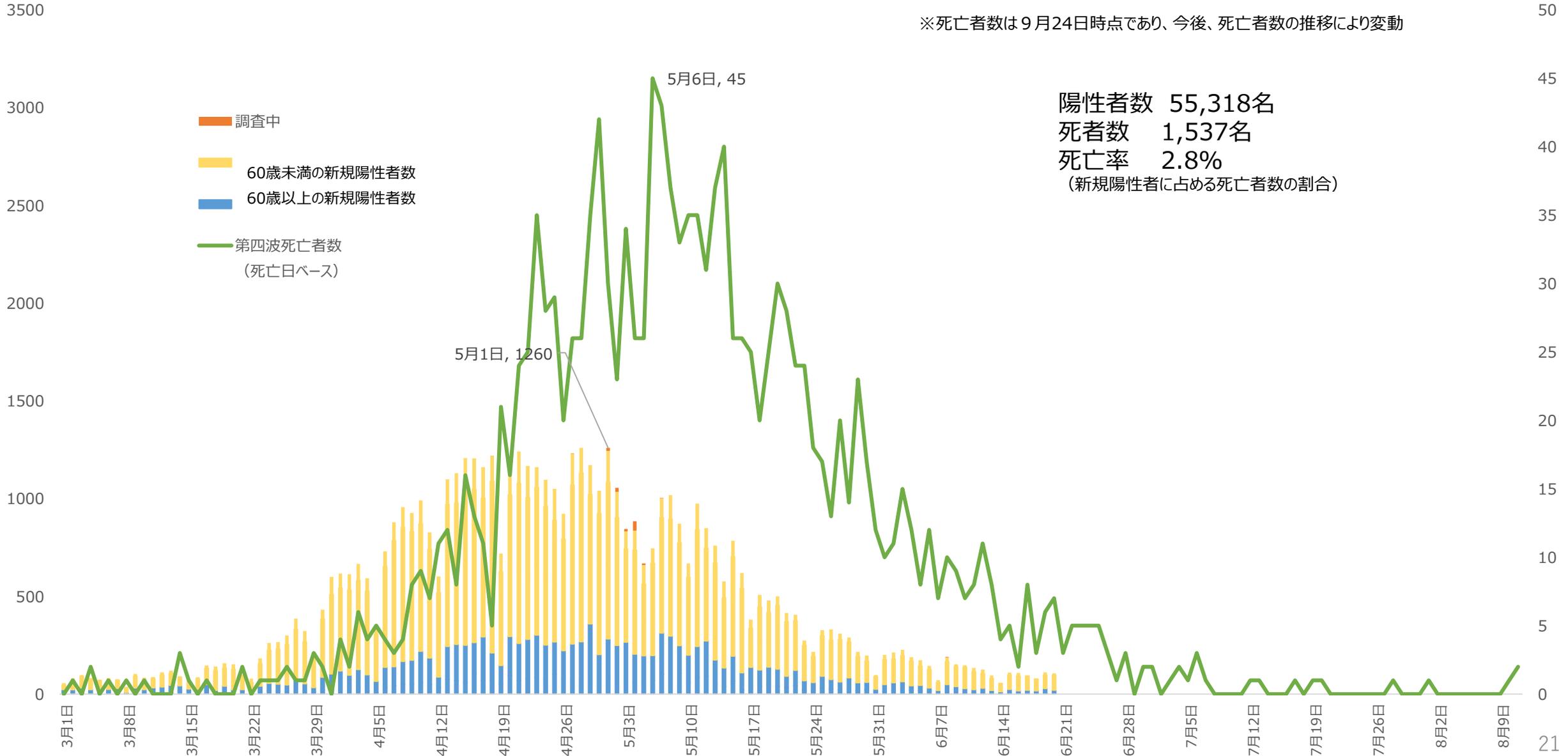
**重症から死亡：83名
(死亡の割合：8.8%)**

**死亡：238名
死亡率:0.2%**

※重症率及び死亡率は9月24日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない
※全国は厚生労働省公表資料（9/24の国内の発生状況）より集計。

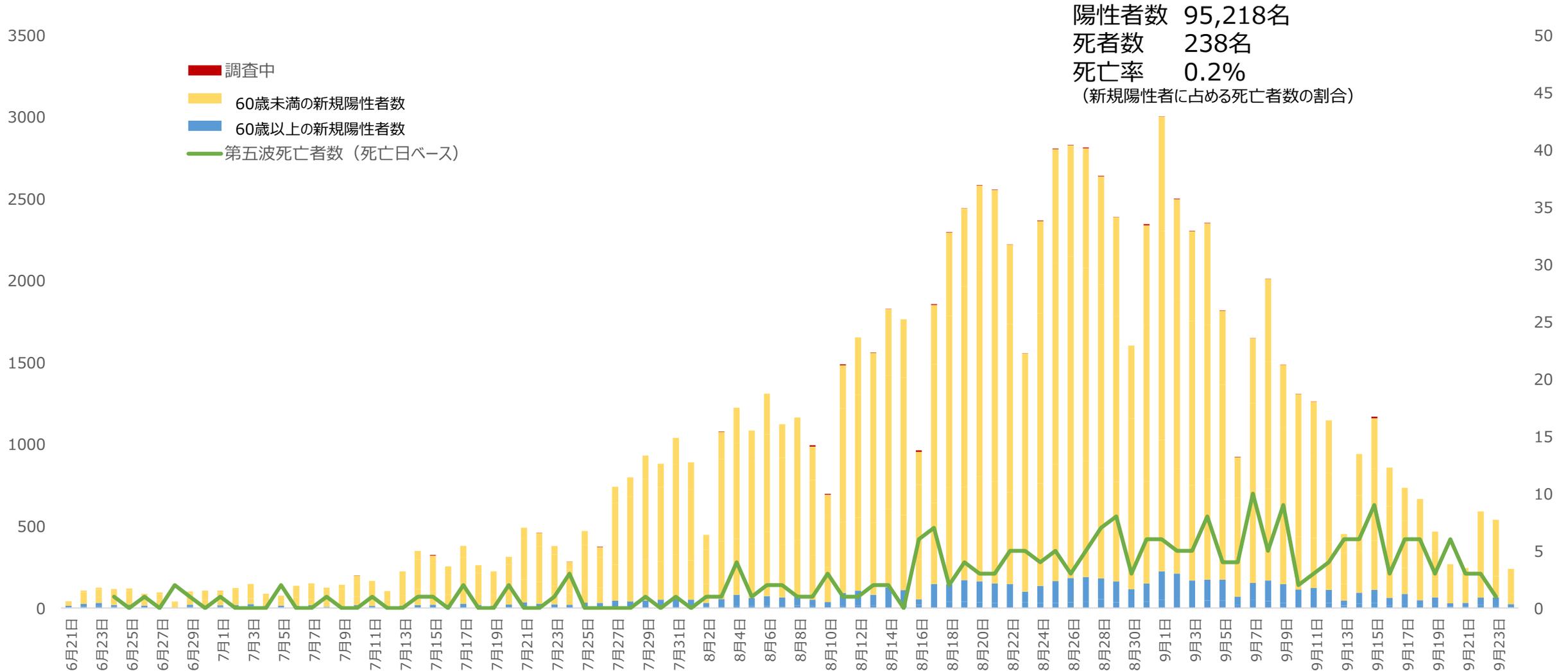
【第四波】陽性者の推移と死亡者数（死亡日ベース）（令和3年9月24日時点）



【第五波】陽性者の推移と死亡者数（死亡日ベース）（令和3年9月24日時点）

◆ ワクチン接種の推進や重症化予防など早期治療の取組みなどにより、第四波に比べると死亡者数は少ない。

※死亡者数は9月24日時点であり、今後、死亡者数の推移により変動



重症者のまとめ（令和3年9月24日時点）

※第四波の重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

◆ 第五波の重症者の年代は、60代以上が大きく減少したことから、40・50代が全体の約半数を占め、30代以下の年代で10%を占めており、若年から壮年期の割合が増加。

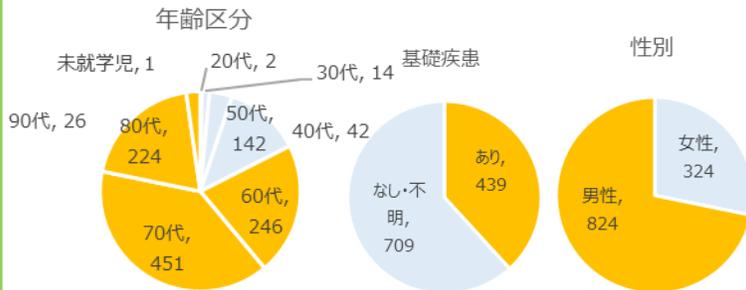
第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数（※）	1,148
死亡	233
転退院・解除	915
帰入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)



平均年齢：66.1歳、60代以上の割合：82.5%

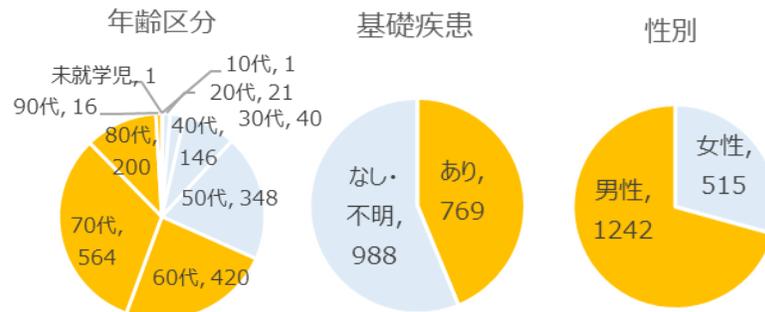
第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
重症者数（※）	1,757
死亡	399
転退院・解除	1,357
帰入院中（軽症）	0
入院中（重症）	1

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.9%(1,694/28,795)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.3%(1,200/12,950)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,757/55,318)



平均年齢：60.9歳、60代以上の割合：68.3%

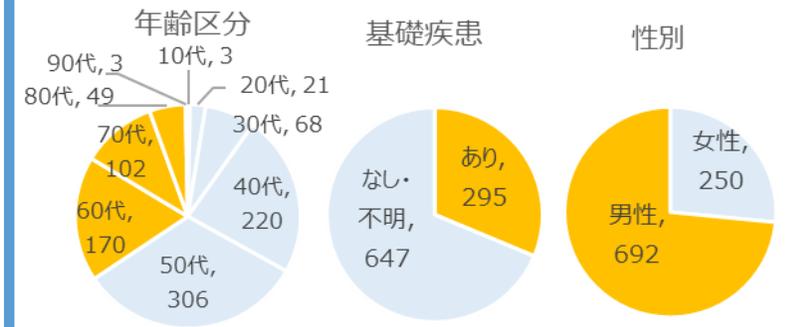
第五波（6/21以降）

新規陽性者数	95,218
(再掲)40代以上(割合)	32,083(33.7%)
(再掲)60代以上(割合)	6,953(7.3%)
重症者数	942
死亡	83
転退院・解除	453
帰入院中（軽症）	239
入院中（重症）	167

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が3例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.6%(850/32,083)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(324/6,953)
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(924/95,218)



平均年齢：51.1歳、60代以上の割合：34.4%

※重症率は9月24日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

死亡例のまとめ（令和3年9月24日時点）

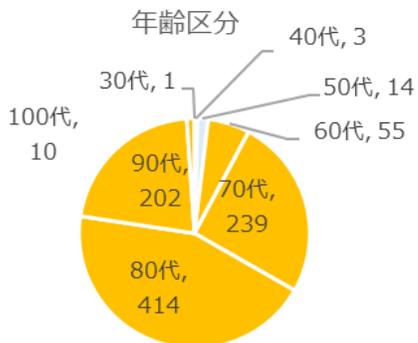
◆ 第五波においても、50代以下の年代層で死亡に至る事例が複数確認。

第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
死亡者数	938

■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5% (937/20,628)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：8.5% (920/10,783)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：2.6% (938/36,065)



平均年齢：78.0歳、60代以上の割合：98.1%

基礎疾患

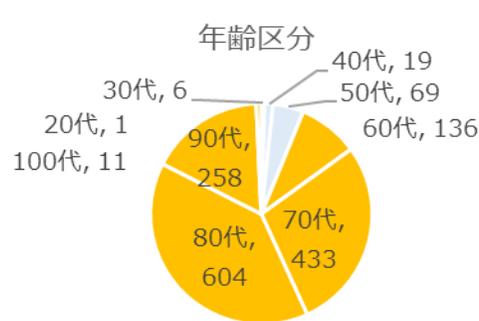


第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
死亡者数	1,537

■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：5.3% (1,530/28,795)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：11.1% (1,442/12,950)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：2.8% (1,537/55,318)



平均年齢：75.2歳、60代以上の割合：93.8%

基礎疾患



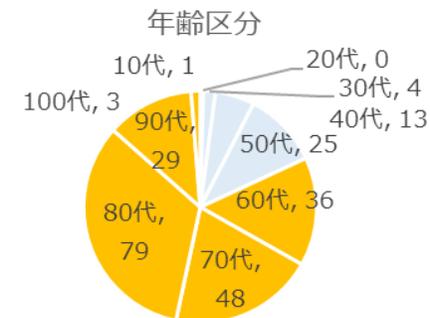
※死亡率は9月24日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数の推移により変動

第五波（6/21以降）

新規陽性者数	95,218
(再掲)40代以上(割合)	32,083(33.7%)
(再掲)60代以上(割合)	6,953(7.3%)
死亡者数	238

■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.7% (233/32,083)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：2.8% (195/6,953)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.2% (238/95,218)



平均年齢：70.0歳、60代以上の割合：81.9%

基礎疾患



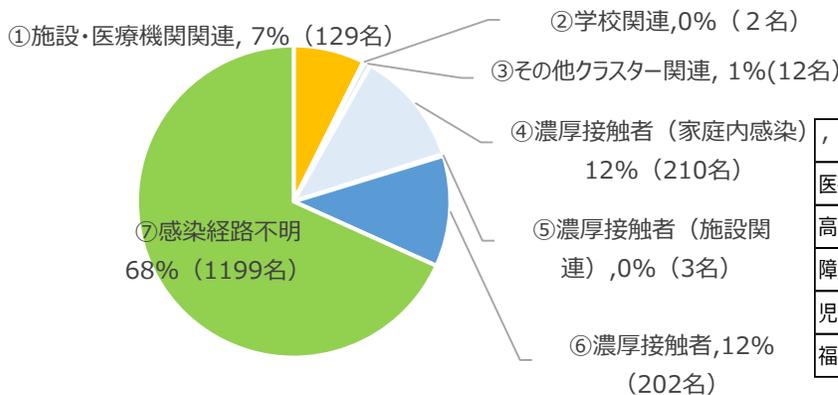
※死亡率は9月24日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第四波】重症・死亡例について推定される感染経路（令和3年9月24日時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

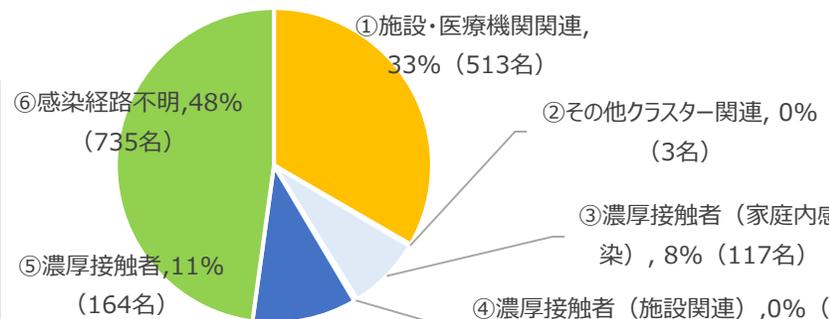
◆ 第四波の重症例1,757名について、推定される感染経路の約7割は感染経路不明者。
死亡例1,537名について、推定される感染経路の約3割が施設・医療機関関連。感染経路不明者は約5割。

重症例（N=1,757）について推定される感染経路



施設・医療機関関連	83
高齢者施設関連	38
障がい者施設関連	5
児童施設関連	2
福祉施設関連	1

死亡例（N=1,537）について推定される感染経路



※重症例1,757例のうち、399例は死亡のため重複あり

施設・医療機関関連	261
高齢者施設関連	243
障がい者施設関連	5
児童施設関連	2
福祉施設関連	2

年代	重症例総数	感染経路内訳							陽性者総数	重症化率
		施設・医療機関関連	学校関連	その他クラスター関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者（施設関連）	濃厚接触者	感染経路不明		
未就学児	1				1				1,255	0.08%
10代	1	1							4,631	0.02%
20代	21	1			2		3	15	12,138	0.17%
30代	40				5		5	30	7,641	0.52%
40代	146	1		4	6		14	121	8,223	1.78%
50代	348	13	1	4	38		39	253	7,622	4.57%
60代	420	25	1	2	51		52	289	4,582	9.17%
70代	564	45		2	81	1	66	369	4,377	12.89%
80代	200	38			25	2	21	114	3,022	6.62%
90代	16	5			1		2	8	923	1.73%
計	1,757	129	2	12	210	3	202	1,199	54,414	-

年代	死亡例総数	感染経路内訳							陽性者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	その他クラスター関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者（施設関連）	濃厚接触者	感染経路不明			
20代	1							1	12,138	0.01%
30代	6				1		1	4	7,641	0.08%
40代	19	2			1		1	15	8,223	0.23%
50代	70	8			3		5	54	7,622	0.92%
60代	135	33			15		7	80	4,582	2.95%
70代	433	104	1		39	1	47	241	4,377	9.89%
80代	604	228	2		47	4	74	249	3,022	19.99%
90代	258	133			11		26	88	923	27.95%
100代	11	5					3	3	46	23.91%
計	1,537	513	3		117	5	164	735	48,574	-

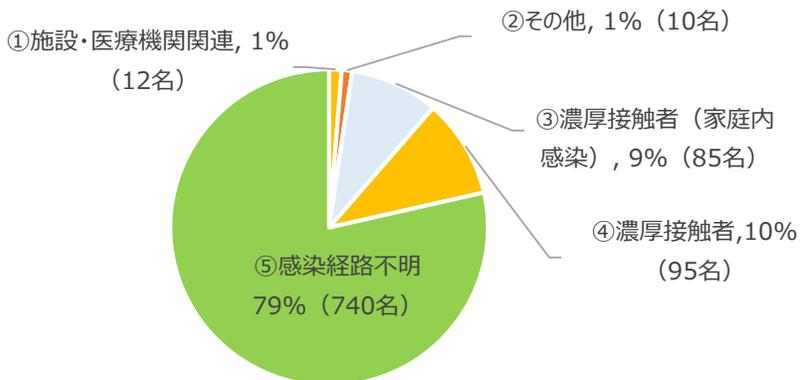
※死亡率は9月24日時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数の推移により変動

【第五波】重症・死亡例について推定される感染経路（令和3年9月24日時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

◆ 第五波の重症例942名について、推定される感染経路の約8割は感染経路不明者。
 死亡例238名について、推定される感染経路の約13%が施設・医療機関関連で、第四波（約33%）より減少。
 感染経路不明者は約7割と第四波（約5割）より増加。

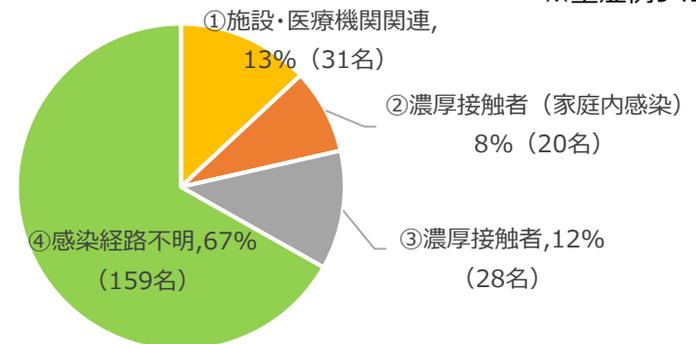
重症例（N=942）について推定される感染経路



施設・医療機関関連	人数
医療機関関連	5
高齢者施設関連	4
障がい者施設関連	3

死亡例（N=238）について推定される感染経路

※重症例942例のうち、83例は死亡のため重複あり



施設・医療機関関連	人数
医療機関関連	14
高齢者施設関連	17

年代	重症例総数	感染経路内訳					陽性者総数	重症化率
		施設・医療機関関連	その他	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者	感染経路不明		
10代	3			1		2	13,764	0.02%
20代	21			3		18	25,827	0.08%
30代	68	1		3	6	58	16,161	0.42%
40代	220	2	2	22	24	170	14,768	1.49%
50代	306	3	6	32	43	222	10,362	2.95%
60代	170	2	2	9	12	145	3,398	5.00%
70代	102			12	5	85	1,965	5.19%
80代	49	3		3	5	38	1,255	3.90%
90代	3	1				2	316	0.95%
計	942	12	10	85	95	740	87,816	-

年代	死亡例総数	感染経路内訳				陽性者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	濃厚接触者（家庭内感染）	濃厚接触者	感染経路不明		
10代	1		1			13,764	0.01%
30代	4				4	16,161	0.02%
40代	13		2		11	14,768	0.09%
50代	25		1	5	19	10,362	0.24%
60代	36		3	2	31	3,398	1.06%
70代	48	3	7	4	34	1,965	2.44%
80代	79	22	6	6	45	1,255	6.29%
90代	29	5		11	13	316	9.18%
100代	3	1			2	18	16.67%
計	238	31	20	28	159	62,007	-

※重症率及び死亡率は9月24日時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【参考】病床確保計画（令和3年7月21日改定）

【重症病床】

下線：改定にかかる変更箇所

運用 フェーズ	病床数※	フェーズ移行の基準となる入院患者数	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	150床	およそ90人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2 移行準備	—
フェーズ2	230床	およそ161人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3 移行準備	およそ90人未満 ⇒フェーズ1 移行準備
フェーズ3	320床	およそ224人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4 移行準備	およそ161人未満 ⇒フェーズ2 移行準備
非常事態 (フェーズ4)	420床	およそ294人（病床数の70%）以上 ⇒災害級非常事態 移行準備	およそ224人未満 ⇒フェーズ3 移行準備
災害級 非常事態 (フェーズ5)	580床	—	およそ294人未満 ⇒フェーズ4 移行準備

※大阪コロナ重症センターについては、当面の間、感染収束期は5床から10床の運用とし、感染拡大に応じて最大30床まで運用。

（フェーズ3、4、5の病床数には「大阪コロナ重症センター」30床含む）

【参考】病床確保計画（令和3年7月21日改定）・宿泊療養施設確保計画（令和3年9月7日改定）

【軽症中等症病床】

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	1,100床	およそ660人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	1,700床	およそ1,190人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ660人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	2,000床	およそ1,400人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ1,190人未満 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ4	2,350床	およそ1,645人（病床数の70%）以上 ⇒災害級非常事態移行準備	およそ1,400人未満 ⇒フェーズ3移行準備
災害級 非常事態 (フェーズ5)	2,500床	—	およそ1,645人未満 ⇒フェーズ4移行準備

災害級非常事態に備え、引き続き、3,000床の軽症中等症病床の確保に取り組む。

【宿泊療養施設確保計画】

運用 フェーズ	部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	800室	およそ240人以上⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上⇒フェーズ3移行準備	およそ240人未満⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200以上⇒フェーズ4移行準備	およそ800人未満⇒フェーズ2移行準備
フェーズ4	4,000室	およそ2,000以上⇒フェーズ5移行準備	およそ1,200人未満⇒フェーズ3移行準備
フェーズ5	6,000室	およそ3,000以上⇒フェーズ6移行準備	およそ2,000人未満⇒フェーズ4移行準備
フェーズ6	8,400室	—	およそ3,000人未満⇒フェーズ5移行準備